



2023年4月、都心に3つの新キャンパスが開校

茗荷谷キャンパス 法曹養成の強化

中央大学の前身である英吉利法律学校の赤レンガ造り校舎をモチーフとした地上8階地下2階建てのキャンパスで、低層階には、旧駿河台校舎と同じ尖頭アーチを取り入れています。教室は遠隔授業やハイブリッド型授業に対応した仕様、図書館や食堂は創立者が学んだイギリスのミドルテンブル※をモチーフとしているのが特徴です。法曹や公務員という難関試験突破を目指す学生のために「研究室フロア」を設置しています。



※ミドルテンブル (Middle Temple)
ロンドン中心部にある法曹院。

駿河台キャンパス プロフェッショナル人材 の育成拠点へ

創立百周年記念事業の一環として1988年に開館した駿河台記念館は、2023年4月に駿河台キャンパスとして生まれ変わりました。法務研究科(ロースクール)と経営戦略研究科(ビジネススクール)の2つの専門職大学院を擁し、法曹界と実業界からの要請に応えるべく「経営の分かる法律家」、「法律の分かる経営者」を育成します。

駿河台キャンパスは、地上20階地下1階建てのキャンパスで、外観はかつての駿河台校舎3号館をモチーフとし、これからの中央大学が大きく羽ばたいていくような軽やかな縦基調のデザインとなっています。18階には学会会の本部機能が、19階には周辺の景色が一望できるカフェテリア Good View Diningがオープンし、卒業生の交流拠点としてもご利用いただけます。

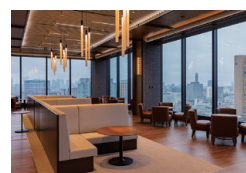
小石川キャンパス 都心の新たな体育施設

都心におけるスポーツ施設として、2023年4月、供用を開始しました。体育の授業での利用のほか、部会やサークルの活動拠点として多目的室も併設され、学生の交流の場となります。

施設紹介動画は
こちらからご覧
いただけます▶



駿河台キャンパス19階
カフェテリア Good View Dining



詳細はこちらから
ご覧いただけます▼



One Chuo

中央大学の近況を伝える大学広報誌
2023.7.27号

Contents

新理事会発足	01
Chuo Vision 2025	03
大学の様々な取り組み	05
学友会所属学生の活躍	07
ゼミ活動等学生の活躍	08
附属中学・高等学校	09
教員の受賞・研究成果	10
Chuo Stories 伝統の仮装行列	11

表紙の人 pickup

念願の1部初勝利! — 関東大学サッカーリーグ戦 1部 第9節 対東海大

2023.06.17 関東大学サッカーリーグ
1部 第9節 対東海大 ○中大 3-1 東海大●
今季初勝利を懸けて挑んだ東海大戦。
1-1で迎えた後半にセットプレーから2得点を奪い、待望の勝利を飾りました!
前半9分に星野の得点で先制するも同41分に失点し、同点で試合を折り返します。
後半何度もゴールに迫る中、64分に鈴木のヘディングゴール、83分には星野のこの試合2点目が決まり、3-1で勝利しました。
目標の「日本一」へ、今節掴んだ勝利の勢いそのままに挑みます!



写真提供:「中大スポーツ」新聞部

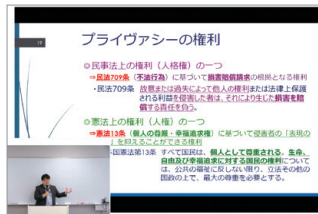
表紙:ゴールを決めた星野創輝さん
(商3、サッカー部)
写真上:星野を迎え入れるスタンドの部員たち

「中大スポーツ」新聞部 Instagramより



3学部共同開講科目「学問最前線」がスタート

1年次を対象に、都心キャンパスにある法学部・理工学部・国際情報学部の3学部が共同で「学問最前線」という文理融合型の科目を新たに開講しました。3学部の教員が提供する学問分野のエッセンスを、各学部の学生がともに学ぶという多様な視野を養える科目です。2023年度は春学期に開講し、履修者数は3学部合計392名です。当該学部の担当教員の講義回は対面授業、その他の学生はオンライン、または各キャンパスに準備されている教室で受講しています。



国際情報学部 岩隈教授の講義

2023年4月、大学院国際情報研究科始動

「情報学と法学を統合し、社会のグランドデザインを主導する人材」の養成をミッションに掲げ、2023年4月に大学院国際情報研究科(修士課程)が開設されました。

本研究科の最大の特徴は、社会人を主な対象としていること。本研究科1期生20名のうち11名が社会人学生。メガバンク、大手広告代理店、マスメディア、官公庁等、自身が所属する組織での業務において「情報学」または「法学」の観点で、あるいはその双方の観点で課題意識を持つ社会人学生が、新卒学生とともに学修・研究を進めています。

授業は日中働く社会人学生も出席できるよう、平日6限(18時50分開始)と土曜日にのみ開講。また、平日の授業においては、オンラインによる同時配信も行い、キャンパス外からでも受講できる体制を整備しています。社会人の学び直し、いわゆるリスキリングが注目を集める

昨今、本研究科においても、社会人でも働きながら修士号を取得できる環境を提供し、社会からの要請に答えています。

学内外の皆様からの引き続きのご支援を賜り、進展著しいAI時代の中で存在感を示せる大学院運営に努めてまいります。



複数のゼミが集まった研究指導の様子

後楽園キャンパス3号館に「中央大学産学官連携・社会共創フロア(後楽園)」を開設

本学では、主として後楽園キャンパスにおいて、都心の立地条件を活かし、多くの官公庁や企業と連携を行い、研究開発機構や理工学研究所等を拠点として、学外から提供される資金(外部研究資金)を利用した学際的共同研究を積極的に推進してきました。

しかし、施設面での制約があるため、設置できる研究ユニットやプロジェクト数も限られ、その結果獲得できる研究費の伸びしろも限定的とならざるを得ないという課題がありました。

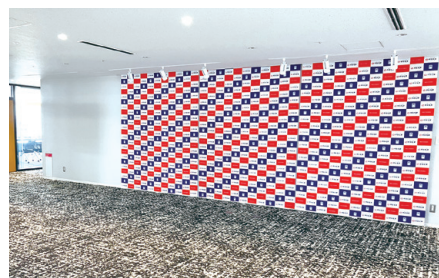
さらなる外部資金の獲得と研究活動の伸長のためには、研究推進・研究実施のためのハード面(施設)の充実が必須であることから、

2023年4月に後楽園キャンパス3号館上層階に「中央大学産学官連携・社会共創フロア(後楽園)」を開設しました。

同フロアの13階及び14階には、産学官連携に資する研究活動を行うための研究室、大学発ベンチャー企業もしくは大学発ベンチャー、スタートアップを目指す教員、研究者が活動するためのインキュベーションルーム、企業や学外機関と連携したセミナーやシンポジウムを開催するためのセミナールーム、企業との商談や打合せを行うためのCoworking Spaceを設置し、産学官連携に資する研究活動を推進しています。



セミナールーム



成果展示スペース